

令和3年度学校評価外部報告書

兵庫県立加古川南高校 学校評価委員会

総合評価 B+
(データ平均値 78.6)

テーマ	領域	重点目標	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	次年度に向けた改善の方策 (2022年2月記入)	課題と来年度に向けての提言
夢や志を育む学校をめざして	産社・総探の充実		1	自己理解・自己管理ができるとともに、コミュニケーション能力が向上した。	キャリア推進各年次	B+	A- (80.0)	B+ (79.1)	3.2	3.1	3.2	<p>【3年】論文を書く過程で、1回目のフィールドワークを受けて、さらにテーマを深めるための2回目のフィールドワークの機会を全員に課すことができることよい。</p> <p>【2年】結論に結びつく取り組みを今一度見直していく必要がある。他者からのアドバイスが聞ける機会を設け、自身の研究を深めさせ、納得のいく結論に導きたい。また、書き方、発表の仕方など自分の論文を表現する力を身につけさせる。教師の努力も必要である。</p> <p>【1年】今年度から導入した「エナジード」に計画的に取り組めば、探究に向かう姿勢が養えると思う。</p> <p>【キャリア】「スタディサプリ」や「エナジード」などの外部教材の活用を効果的に行うことで自分自身の適性を確認するとともに、職業観を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トライやるウィークができない状況下で、一部の中学校では「働くことについて知る」というテーマで講演を行った。地域との関わりを求めているのであれば協力はできるので、必要に応じて声をかけてもらえればよい。 ・高校生を対象にしたイベントの企画を増やしているところである。生徒たちが主体になって企画・運営できるようにしくみも考えているので、キャリア教育という観点では活用できるのではないだろうか。 ・1年生の時から、卒業後の進路がある程度明確になっている状態で科目選択をしないといけないのは確かに大変だと思う。個々に応じた面談や指導を引き続きお願いしたい。 ・人の思いを想像しながら行動するという経験を繰り返すことによって、社会の中でどのように振る舞うべきかがわかってくるように思う。学校生活においてそのような場面をどれだけ増やせるか、今後の学校運営に期待したい。
			2	課題に対して情報を適切に処理し、課題解決していく力が向上した。	キャリア推進各年次			B+ (77.7)	3.0	3.2	3.1		
			3	働くことの意義や役割を理解し、進路意識や職業観が向上した。	キャリア推進各年次			A- (83.1)	3.3	3.3	3.4		
	進路の達成			4	希望する進路に向かって地道に学習する生徒を増やした。	キャリア推進各年次	B+ (79.4)	B+ (77.1)	B+ (77.1)	3.0	3.2	3.1	<p>【3年】スタディサプリなどを通じて、生徒の学習量を可視化し、適切なアドバイスをする。</p> <p>【2年】進路実現に向け、目標設定や取り組みを具体化し、計画的に学習を実行する力を身に付けさせる。進路に応じた個別指導も充実させながら年次全体が最後まで取り組む雰囲気、環境を作っていく。</p> <p>【1年】キャリア推進部と年次とが連携をとりながら進めていく必要がある。進路から進路LHRの年間計画を提示してもらえるとありがたい。</p> <p>【キャリア】単純に「課題研究＝〇〇字の論文を書くこと」という認識にならぬよう、研究をすることの意義を適切に伝えるようにする。また、本意な進路選択が起きないように、粘り強く学習した生徒の成功例が適切な形で伝わるような情報提供を心掛ける。</p>
				5	進路実現に向けて個に応じたきめ細やかな指導を実施した。	キャリア推進各年次			A- (80.0)	3.2	3.3	3.1	
				6	キャリア教育と進路指導が連携し、効果が上がった。	キャリア推進各年次			B+ (74.3)	3.1	2.9	3.0	
	ガイダンス機能の充実			7	納得のいく科目選択のために丁寧なガイダンスが実施された。	キャリア推進1・2年次	A- (81.1)	A- (84.4)	A- (84.7)	3.5	3.4	3.2	<p>【3年】大学・短大進学に関する検討会を開く。</p> <p>【2年】生徒や保護者に積極的に進路に関する情報提供をおこない、面談等を通して不安や悩みなどを共有し、意欲向上につなげていきたい。</p> <p>【1年】1年次1学期に科目選択をするのはどう考えても早い。いくら説明しても入学したての生徒には実感として伝わらない。科目選択の時期が変更できないなら、1学期に一般的な進路指導をする時間を確保しなければならぬ。</p> <p>【キャリア】一部職員の「困り込み」による偏った指導を防ぎ、より多くの職員からの指導を生徒が受け入れられるようにする。科目選択を行うための情報提供を早い段階で行う必要があり、本校職員の説明だけでなく、業者を活用した進路ガイダンスや相談会を計画的に実施する。</p>
				8	進路実現に向けて効果的な情報提供がなされた。	キャリア推進各年次			A- (84.4)	3.5	3.4	3.2	
				9	生徒の情報が教員間で共有され生徒の意欲向上につながった。	各年次各教科			B+ (74.1)	3.0	2.9	3.0	

テーマ	領域	重点目標	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	次年度に向けた改善の方策 (2022年2月記入)	課題と来年度に向けての提言	
夢や志を育む学校をめざして	領域2 学力の向上	授業改善	10	わかりやすい授業、意欲を高める授業を実施した。	全職員	B+ (74.9)	B+ (72.2)	B+ (75.0)	3.3	2.9	2.8	【教務】多くの教員が、HR教室に設置されている電子黒板機能付きプロジェクタを利用しながら授業を行った。 123台のタブレットを使い、調べ学習など主体的な活動や、総合的な探究の時間では全員がPCを利用した活動を行うなど、ICTを利用した授業が充実した。	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを持たせる以上、使用状況がどの程度か、また環境がどの程度整っているのかは問われることになる。高い金を払ったのに活用できなかったということがないよう、入念な授業計画をしてもらいたい。 ・コロナ禍において、登校できない生徒に対する指導の在り方を学ぶ教員が増えたと聞いている。もしもの時に対応できるようなスキル(オンライン授業など)を身につけておくことは全ての教員に求められるだろう。 ・PTAの話し合いもオンラインで何度か行いました。仕事やそれぞれの環境によっては時間も都合が良いのですが、ちょっとしたニュアンスの違いや誤解が生じることで話がかみ合わないこともあるかもしれません。聞き取りにくいなどのデメリットはあると思いますが、内容によっては効率的だと感じることもありました。 	
			11	主体的・対話的で深い学びの視点に立った学習過程の改善に取り組んだ。	全職員			B+ (71.1)	2.9	2.8	2.9			
			12	授業公開や生徒による授業評価を取り入れるなど授業改善に取り組んだ。	教務各教科			B+ (70.5)	2.7	2.8	2.9			
		カリキュラムの充実	13	進路達成に応じた、多様な科目を設定した。	教務各教科		A- (84.6)	A- (88.9)	3.4	3.7	3.6	【教務】新教育課程で設置科目の精査や置換を行い、できるだけ生徒の進路実現に沿うようなカリキュラムを編成した。		
			14	学力向上を目指したカリキュラムを設定している。	教務各教科				A- (82.2)	3.0	3.5			3.4
			15	新学習指導要領に対応した教育課程編成の準備をした。	教務各教科				A- (82.8)	3.3	/			/
		学習習慣の定着	16	家庭学習習慣を定着させた。	各年次教務		B- (67.9)	B+ (76.5)	3.3	2.8	3.0	<p>【総務】朝読書を継続して行う。読書習慣を身に付けさせるために、話題の本やお勧め本などを図書館だよりに掲載するなどして読書への興味関心を高める。図書館オンラインを行うなど利用しやすい図書館づくりが必要である。</p> <p>【教務】各年次に置いて、朝読書・小テスト等、日々の学習を定着させる取り組みを行っている。来年度も継続して、生徒の学習習慣を定着させる仕掛けを実施していきたい。1年次において、4月と9月にスタディサブリの到達度テストを実施し、生徒の苦手とする分野を見つける取り組みを行った。見つけた苦手分野は、動画授業で復習し改善を試みた。</p> <p>【3年】1日の生活記録をつけさせ、学習に向かう時間を固定化させる。</p> <p>【2年】与えられた課題はこなすが、自分に必要な力をつけるための学習の定着ができていない。各自が進路目標実現のためにやるべきことを明確にする必要がある。</p> <p>【1年】自分に必要な力は何か、何のために学習をするのかを理解しないと、学習意欲や学習効率は高まらない。まずは自己分析をしていくための面談が必要。</p>		
			17	予習・復習をさせる手立てを組織的・計画的に実施した。	各年次教務				B- (63.1)	2.8	2.0			2.8
			18	読解力の向上を目指して、朝読など読書活動を実施した。	総務各年次				B- (64.2)	3.0	2.1			2.5

テーマ	領域	重点目標	評価項目No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	次年度に向けた改善の方策 (2022年2月記入)	課題と来年度に向けての提言	
夢や志を育む学校をめざして	領域3 人間の育成	生活指導の充実	19	交通マナーの向上に努め、自転車事故の低減を図った。	生徒指導各年次	A- (81.4)	B+ (75.4)	3.0	3.0	3.0	<p>【生徒指導】交通事故を未然に防ぐために全校集会等での啓発活動（ミラリング等）を行う。いじめに関しては小さな事案も見逃さずに全職員で取り組む。ネットでのいじめ案件が発生したのでSNS講演会を行い未然に防ぐ。</p> <p>【3年】服装頭髪違反に関して、生徒とのコミュニケーションの機会をとらえ、気がつくたびに声をかける。</p> <p>【2年】ぶれない指導が必要である。学校全体で指導のラインを一定に保ち、年次に限らず全職員で指導にあたる。</p> <p>【1年】教員の言うことを素直に聞く生徒がほとんどである。だからこそ、校則の見直し等、生徒自身の手で行わせていく時期ではないか。教員の言うことを疑うことなく聞き入れるだけの生徒を育ててはいけない。</p>	<p>・交通マナーに関しては、以前に比べると良くなったとは感じるがゼロではないということなので、引き続き指導をお願いしたい。</p> <p>・校則については、生徒による見直しの機会を設け、話合っている学校もあると聞いている。生徒の主体性を育てるという観点からも参考にしてはどうか。</p> <p>・評価項目No.24で、個人的には活動が制限されるなか、自主性が育ち積極性が身につく良いこともあったのではないかと思います。ただ、試合が無い辛さについては、気持ちを共感してあげてほしいですし、部活を強化しながら希望や先生のサポートは絶対に必要だと思いました。</p>		
			20	ネット依存・トラブル防止のため、情報モラルの高揚に努めた。	生徒指導各年次			B+ (77.7)	3.0	3.4			3.0	
			21	端正な服装・頭髪ができるなど規律正しい学校生活を送らせた。	生徒指導各年次			B+ (79.8)	A- (85.9)	3.1			3.6	3.6
			22	定期的にアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見・解消に努めた。	生徒指導保健・各年次			A- (81.0)	3.4	3.2			3.1	
			23	生徒の悩みを聞く体制がとられており、共通理解に基づいた対応ができた。	生徒指導保健・各年次			B+ (79.1)	3.4	3.1			3.0	
		課外活動の充実	24	部活動を活性化し、自主性や豊かな人間性を育んだ。	全職員		B+ (79.2)	B+ (78.4)	3.1	3.1			3.2	<p>【総務】学校行事の運営の一部を生徒に任せるなど、生徒に活躍の機会を与える工夫が必要である。ただし、コロナ感染防止のために活動が制限されることが多く、生徒間での情報共有が難しくなっているものもあるので、教員からのサポートも必要である。</p> <p>【生徒指導】生徒の自発的な行動が生まれるように働きかける。（生徒主体の行事運営等）</p> <p>【キャリア】課題研究において校外での活動に積極的に参加している様子が見られるようになったため、この良い変化を失わないようにする。</p>
			25	生徒会活動や学校行事を通して主体性が育まれた。	総務 キャリア推進 生徒指導			B+ (79.9)	3.3	3.1			3.2	
		地域との連携充実	26	ボランティア活動やインターンシップなど、地域と結びついた活動が活性化した。	生徒指導 キャリア推進		A- (85.2)	A- (84.6)	3.4	3.4			3.4	<p>【生徒指導】ボランティアの加古南と呼ばれ続けるように活動を活性化する。</p> <p>【企画広報】引き続きホームページの毎日更新を心がける。</p> <p>【キャリア】インターンシップの他にも地元企業と関わる機会を増やし、企業との協力体制を構築していく。</p>
			27	ホームページ・各種学校通信など学校からの情報発信は効果的に行われた。	企画広報			A- (85.7)	3.7	3.3			3.3	

テーマ	領域	評価項目No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	次年度に向けた改善の方策 (2022年2月記入)	課題と来年度に向けての提言
夢や志を育む学校をめざして	領域4 教師力の向上	28	生徒に寄り添い、厳しさと温かさをもってカウンセリング力、コーチング力の向上に努めた。	全職員	A- (80.1)	A- (81.5)	3.3	3.3	3.2	<p>将来構想委員会を開催し、学校のあり方を見つめ直し、スクラップアンドビルドとともに教員全体で新たな取り組みを柔軟に行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入学してくる学生はよく頑張っているように見える。教員の指導が反映されているのだと思う。慢心することなく努力してもらいたい。 ・職員アンケートの回答率が低いのは残念なことである。評価に対する当事者意識を高める必要がある。 ・子どもが進路で悩んだ時も親身になって相談に応じてくださるので親として心強かったです。 	
		29	ニーズをつかみ、変化する時代に対応するために総合的な教師力の向上に努めた。	全職員			B+ (76.8)	2.9	3.1			3.2
		30	報告・連絡・相談を密にとり、「チーム学校」としての教育力の向上に努めた。	全職員			A- (81.9)	3.2	3.4			3.3